

城西人文研究

第32巻

2015

佐多の走った道と住んだ家 ……………井 汲 明 夫 (1)

日向国延岡藩内藤充真院の大坂寺社参詣 ……………神 崎 直 美 (37)

金子みすゞ童謡の中国語訳の試み (二) ……………樊 穎 (71)

イエイツ『幻想録』(一九二五)の
「献辞」について ……………小 堀 隆 司 (99)

城 西 大 学

経 済 学 会

執筆者紹介（掲載順）

井 汲 明 夫 元教授（経済学）
神 崎 直 美 准教授（日本史）
樊 穎 助 教（日中比較文学）
小 堀 隆 司 教 授（英文学）

（掲載された論文は査読を経たものである。）

題字は

本学の故蒔田栄一教授の執筆による。

城西人文研究

第32卷

2015年

城 西 大 学

第31卷 (2012年)

- アラン・シャルティエの『つれない美女』(1) ……永井豊実
 E. S. ガードナーの「ペリー・メイスン」絶滅の謎 ……日吉和子
 アメリカ黒人女性作家と新奴隷体験記
 — 奴隷制の記憶の受容と克服 — ……大橋 稔
 “Mine honesty and I begin to square”:
 Masters and Servants in *Antony and Cleopatra* ……Minako NAKAMURA
 日向国延岡藩内藤充真院の蔵書
 — 蔵書の分野と関心事項について — ……神崎直美
 金子みすゞ童謡の中国語訳の試み ……樊 穎

西国筋郡代寺西元栄の徒罪認識と人足寄場改革案

— 老中水野忠邦への上申書を素材として — ……………神 崎 直 美
〔研究ノート〕

G. ケラー『緑のハインリヒ』

— 三人の女性登場人物の背景描写 — ……………鈴木 敏 夫
嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (10) ……………黄色 瑞 華

第 29 卷 (2006 年)

制限主権論……………森 田 昌 幸
アメリカ黒人女性の奴隷体験

— ブラック・フェミニズムの源流を探して — ……………大 橋 稔
〔研究ノート〕

文章理解を促進する図解についての

認知心理学的研究……………鈴木明夫・粟津俊二

『おらが春』所収句全注解 (六)……………黄色 瑞 華

イエイツ「学童たちのなかで」(その一)……………小 堀 隆 司

「たわむれ たくらみ しかえし」

— 『楽しい知識』に添えられたニーチェの詩の翻訳の試み — ……河 内 信 弘

「刑法新律草稿」に関する一考察

— 彦根藩佐野領「刑法窺留」を素材として — ……………神 崎 直 美

第 30 卷 (2009 年)

ブラウン訴訟事件判決後の米国公立学校での人種要因

考慮プログラムを巡るシアトル第一学区訴訟判決について

……………日 吉 和 子

“honour is the subject of my story”:

Representing the Construction

of Male Selfhood in *Julius Caesar* ……………Minako NAKAMURA

『おらが春』所収句全注解 (七)……………黄色 瑞 華

日向国延岡藩内藤充真院の鎌倉旅行

— 光明寺廟所参拝と名所めぐり — ……………神 崎 直 美

『大つごもり』の「をどり」について

— 解説と考察 — ……………井 汲 明 夫

Passion と Virtue の構成

- *Eloisa to Abelard* — ……石川 郁 二
 イェイツ「動揺」について (II) 〈承前〉……小堀 隆 司

第 25 卷 (1999 年)

- 自伝論について……鈴木 敏 夫
 『レノーレ』のケルトの余韻 ……永井 豊 実
 現代日本語の未完了アスペクトと未来表現……鎌田 精三郎
 アンドレ・ジッドをめぐるエッセー I
 —『新感情教育』草稿と『ブルターニュ紀行』
 をめぐって……鈴木 たけし
 萩原朔太郎『ニイチェに就いての雑感』について……河内 信 弘

第 26 卷 (2000 年)

- イェイツ「万霊節の夜」について
 — その果しなき思惟の詩学 — ……小堀 隆 司
 アンドレ・ジッドの方法 (XVI)
 —『インモラリスト』— そのマニユスクリを
 追って (6) — ……鈴木 たけし
 「ツァラトストラの歌」ニーチェ 1883-1885 ……河内 信 弘
 [研究ノート]
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (8) ……黄色 瑞 華

第 27 卷 (2002 年)

- リアの 3 人の娘たちと王権の行方……小野 昌
 水戸藩「刑典摘要」について
 — 解題と翻刻 — ……神崎 直 美
 [研究ノート]
 嘉永版『俳諧 一茶発句集』全注解 (9) ……黄色 瑞 華

第 28 卷 (2003 年)

- イェイツ
 「ハールーン・アル＝ラシードの贈り物」について (I) ……小堀 隆 司

イェイツ「動揺」について (I)

—〈存在〉から遙か離れて— ……………小堀隆司

第21巻 第1号 (1993年)

アンドレ・ジッドの方法 (X)

—『インモラリスト』—ソチの観点から(2)—……………陶山 嘯

シェイクスピアの『リア王』の材源について……………小野 昌

ワーグナーの『さまよえるオランダ人』

—永遠に呪われた者の救済について— ……………春日正男

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』……………河内信弘，シュテファン・ヴント(共訳)

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(5) ……………黄色瑞華

第21巻 第2号 (1994年)

アンドレ・ジッドの方法 (XI)

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って— ……………鈴木 たけし

坪内逍遙と福田恆存

—劇作家とシェイクスピア—……………小野 昌

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(6) ……………黄色瑞華

第22巻 (1995年)

アンドレ・ジッドの方法 (XIII)

—『インモラリスト』—そのマニユスクリを追って(3)— ……………鈴木 たけし

〔翻訳〕

中島 敦：『李陵』(その2) ……………シュテファン・ヴント，河内信弘(共訳)

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(7) ……………黄色瑞華

第23・24巻 合併号 (1997年)

シェイクスピアの『リア王』のテイトによる改作について ……………小野 昌

第19卷 第2号 (1992年)

- 道化のコンセプト……………小野 昌
 日本語助詞「は」と「が」
 — 情報伝達の観点から — ……………鎌田 精三郎
 夏目漱石の比喩論……………楊麗 雅
 ガートルード・スタイン：「戯曲」の始まり ……………三芳 康義
 [翻 訳]
 中島 敦：『弟子』……………河内信弘，シュテファン・ヴント(共訳)
 [研究ノート]
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(2) ……………黄色 瑞華

第20卷 第1号 (1992年)

- リルケとロシア絵画 — 三つの計画 — ……………安家 達也
 [研究ノート]
 教育評価について……………細部 国明
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(3) ……………黄色 瑞華
 [翻 訳]
 中島 敦：『弟子(その2)』および『山月記』
 ……………河内信弘，シュテファン・ヴント(共訳)
 「慰められるクファーリン」と「黒い塔」について
 — イェイツ最後の動揺 — ……………小堀 隆司

第20卷 第2号 (1993年)

- G. スタインの「メランクサ」
 — “Bottom Nature” を求めて ……………三芳 康義
 [研究ノート]
 エーミール・エルマティンガーの
 「ゴットフリート・ケラーの生涯」(再読) ……………鈴木 敏夫
 知能について — 知能構造と教育 — ……………細部 国明
 嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(4) ……………黄色 瑞華
 [書 評]
 「会社主義」と法 — 紹介 = 東京大学社会科学研究所編
 『現代日本社会』(全7巻) — ……………述田 齐

〔研究ノート〕

幼児期以後の発達……………細 部 国 明

Changing Views of the West's Impact

on China ……………J. H. Parsons

ドイツ民主共和国における拒否的教養小説の

影響力……………シュテファン・ヴント

ワーグナーの『ローエングリン』

— 引き裂かれた魂 — ……………春 日 正 男

〔翻 訳〕

プリンツ・フォーゲルフライの歌

— “Die fröhliche Wissenschaft” にそえられた

ニーチェの詩の翻訳の試み — ……………河 内 信 弘

アンドレ・ジッドの方法 (VIII)

『法王庁の抜け穴』(その2)

— 『鎖を離れたプロメテ』と『パリュード』をめぐって —

……………陶 山 曠

第19巻 第1号 (1991年)

『恋の骨折り損』の春と冬のかげ合いについて ……………小 野 昌

制度化された学校教育の功罪への問い

— I. イリッチ, K. アウリン, E. E. ガイスラーの

学校論を廻って — ……………高 島 明

漱石文学の比喩表現におけるイメージ研究

— 夢・絵画・幽麗 — ……………楊 麗 雅

イエイツ「自我と魂の対話」について……………小 堀 隆 司

アンドレ・ジッドの方法 (IX)

『インモラリスト』—ソチの観点から……………陶 山 曠

〔翻 訳〕

菊池 寛：蘭学事始……………河内信弘, シュテファン・ヴント(共訳)

〔研究ノート〕

嘉永版『俳諧一茶発句集』全注解(1) ……………黄 色 瑞 華

第17巻 第2号 (1990年)

- 乳児の発達……………細 部 国 明
 モーツァルトの『魔笛』
 — オペラにおける教養小説 —……………春 日 正 男
 A Review of Tesl Method……………John Parsons
 “詩的に” 考える
 — ハイデッガーの作品『思い出』における
 考えることの本質への問い —……………高 島 明
 イェイツ『鷹の井戸』
 — 転生のための不可能性 —……………小 堀 隆 司
 一人称のパシュラール
 — 『パシュラールと過したひとと夏』とその研究Ⅲ —……………越坂部 則 道
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(七)……………黄 色 瑞 華

第18巻 第1号 (1990年)

- 水滴の歌
 — T. S. エリオットの声 —……………佐 藤 亨
 呪文としての文学
 — 『アメリカ人の成り立ち』の場合 —……………三 芳 康 義
 イェイツ『煉獄』について
 — 生の呪詛と断念 —……………小 堀 隆 司
 アンドレ・ジッドの方法 (Ⅶ)
 『法王庁の抜け穴』をめぐる(その1)……………陶 山 嘯
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(完)……………黄 色 瑞 華
 会員消息欄

第18巻 第2号 (1991年)

- The Temple of Fame* における
 過去, 現在, 未来……………石 川 郁 二
 中国の古典比喩理論
 — 日本と西洋との比較を通して —……………楊 麗 雅

- カミュの「無差異」について……………村岡正明
 Dostoevskij の小説における思想上の傾向……………シュテファン・ヴント
 イェイツ「ビザンチウムへの船出」について
 — 聖なる彼方の詭計 — ……………小堀隆司
 バシュラルの死をめぐって
 — 『バシュラルと過したひと夏』とその研究Ⅱ — ……………越坂部 則道
 ニーチェにおける第七の孤独……………河内信弘
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(四)……………黄色瑞華

第16巻 第2号(1988年)

- ワーグナーの楽劇『トリスタンとイゾルデ』
 — 《死の葉》をめぐって — ……………春日正男
 『結婚の生理学』におけるバルザックの政治
 と文学の問題……………佐野栄一
 イェイツの「塔」について
 — 反復としての回想 — ……………小堀隆司
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(五)……………黄色瑞華

第17巻 第1号(1989年)

- The Value of the Pāli Commentaries as
 Research Material ……………Sodō Mori
 Eloisa は幸福を手に入れるか
 — *An Essay on Man* を基にして — ……………石川郁二
 西ベルリンと国際関係
 — ドイツ人のベルリン報告 — ……………シュテファン・ヴント
 Zur Erzählstruktur in Kafkas
 《Von den Gleichnissen》……………Tetsuo Kotani
 ディオニュソス酔歌(翻訳)……………河内信弘
 [研究ノート]
 井泉水編『一茶俳句集』入集の句(六)……………黄色瑞華
 会員消息欄

“Elegy to the Memory of an Unfortunate

Lady” と “Eloisa to Abelard” ……石川郁二

Faerie Queene, Book I における「光」と「闇」 ……古川啓二

〔研究ノート〕

井泉水編『一茶俳句集』入集の句（二） ……黄色瑞華

「松のひゞき波をしらぶ」考 ……安保博史

イエイツ「マイケル・ロバーツの二重の幻想」について

— 幻滅の狡智 — ……小堀隆司

第15巻 第2号（1987年）

A Study of the *Sihalavatthupparana* ……Sodō Mori

The Acquisition of English and the Learner's Attitude

— Motivation vs. Ego Boundary — ……Fumiko Tamura

James Joyce の “Exiles” と芥川龍之介の

『藪の中』との類縁性(1)

— 人物像を中心にして — ……茂呂公一

結婚で終わらない喜劇, *Love's Labour's Lost* の構造 ……小野昌

テオドア・フォンターネ：グスタフ・フライタークの

〈借り方と貸し方〉（試訳） ……鈴木敏夫

ゲーテの『ヴィルヘルム・マイスターの遍歴時代』

におけるマカーリエ神話 ……荻野静男

神話概念の変遷 I

— Mythos の語史に関して（上） — ……天沼春樹

ニーチェにおける夕

— 詩人としてのニーチェ — ……河内信弘

〔研究ノート〕

井泉水編『一茶俳句集』の句（三） ……黄色瑞華

第16巻 第1号（1988年）

ジョイスの “Exiles” と芥川龍之介の『藪の中』に

おける卍巴模様の構造と、真相の曖昧さの

意味について

— ジョイス受容史への加筆の試み — ……茂呂公一

アンドレ・マルロー「ルオーの新作についての覚書」――

絵画における悲劇的表現をめぐる「の翻訳と解題」……………堀 田 郷 弘
 「シルス・マリーア」をめぐる……………河 内 信 弘
 日中戦争開戦当初における対植民地・「満州」米政策……………大豆生田 稔
 歌人 安江不空・序(3)

――大和歌の問題――……………小 野 浩
 『志多良』の序文をめぐる……………黄 色 瑞 華
 高橋克巳論――虚無僧のパトス――……………山 口 勲

第 14 号 (1987 年)

Mahāsīvatthera as Seen in the Pāli Aṭṭhakathās……………Sodō Mori
 キーツの『秋に寄せて』(二)

――第 2 連の情景――……………永 井 豊 実
 坪内逍遙とシェイクスピア

――帝劇『ハムレット』をめぐる――……………小 野 昌
 TENSE and TIME in English……………Seizaburo Kamata
 コシンスキーの『自己芸術』: *Steps* をめぐる……………繁 田 眞 弓
 Kajii Motojiros “Fliegen im Winter”……………Stefan Wundt
 E. T. A. ホフマン『さびれた家』

――作話技術を中心に――……………齊 藤 洋
 バルザックの小説の提示部について……………佐 野 栄 一
 [研究ノート]

ニーチェにおける詩人

――ニーチェの詩の理解のために――……………河 内 信 弘
 [研究ノート]

井泉水編『一茶俳句集』入集の句(一)……………黄 色 瑞 華
 イェイツの「一エーカーの草地」について

――〈悟り〉か〈狂気〉か――……………小 堀 隆 司
 アポリネールの恋の詩と真実……………堀 田 郷 弘

第 15 卷 第 1 号 (1987 年)

推論の妥当性から〈魂〉の論理性へ……………西 勝 忠 男

第13号 (1986年)

- 巻頭言……………石 南 國
 “鏡”の論理から“魂”の論理へ
 — 人間記号論序説 — ……………西 勝 忠 男
 北欧中世（スウェーデン）における自力救済慣行
 — 実力社会の一考察 — ……………伏 島 正 義
 潮湯の偏在性に関する地理学的予察
 — 日本における海水浴普及との関連から — ……………小 口 千 明
 ジョイスの“Exiles”における受難の思想について ……………茂 呂 公 一
 Eloisa と Belinda の相違 ……………石 川 郁 二
 状態動詞・完了形・進行形・状態受動態に
 見られる共通特性……………鎌 田 精三郎
 R. Huch の〈スイスの春〉覚え書
 — 研究ノート — ……………鈴 木 敏 夫
 J. ヴァイスヴァイラーの Seele の語源説をめぐって……………藤 井 明 彦
 ヴァージニア・ウルフ『燈台へ』における視点と
 人物描写について……………飯 塚 英 一
 エアリエルの材源再考……………門 野 泉
 パトナム、シドニーの *sprezzatura* 精神
 — 宮廷世界の美学と「ルネサンス・ヒューマニズム」の対峙 —
 ……………平 松 哲 司
 The Dimensions of the U. S. — Japanese
 Cultural Conflicts Underlying the Trade Issue ……………古 川 友 章
 神話概念の変遷Ⅱ
 — 翻訳語としての『神話』をめぐって（上） — ……………天 沼 春 樹
 自己言及のかたち
 — 『イリュミナシオン』「生活Ⅲ」と「生活Ⅰ」を読む — ……新 宅 巖
 フロベールにおける登場人物と場面……………大久保 政 憲
 『息子』
 — 翻 訳 — ……………アルトゥール・シュニッツラー
 春日 正 男
 『バシュラールと過したひと夏』とその研究Ⅰ ……………越坂部 則 道
 アンドレ・ジッドの方法（VI）……………陶 山 暁

〔研究ノート〕

渭浜庵執筆一茶……………黄色瑞華

第11号(1984年)

〈人間=記号〉論について……………西勝忠男

教育場面における夢の活用(Ⅲ)

— ユングの宗教夢解釈に対するフロムの批判 —……………細部国明

Erühneuhochdeutsch und Buchdruckerkunst – III.

Die Herausbildung der (verbalen) Satzklammer……………藤井明彦

Didaktische Probleme des Geschichtsunterrichts in den

sozialistischen Ländern am Beispiel der UdSSR……………Stefan Wundt

知と自我

— 初期シェリング哲学の原理について —……………小林保則

歌人 安江不空……………小野浩

『我春集』の序文をめぐる……………黄色瑞華

第12号(1985年)

ロンゴバルディ侵住建国をめぐる諸問題

— イタリア民族形成史の一こま —……………森田鉄郎

教育場面における夢の活用(Ⅳ)

— ユングの宗教夢解釈に対するボスの批判 —……………細部国明

ベン・ジョンソンの男性的雄弁の美学

— Timber の詩論を通じてジョンソンの詩を読む —……………平松哲司

Die Kommunistische Erziehung und ihre

Wertvorstellungen……………Stefan Wundt

シャルル・モーロンの「精神批評」(3)……………越坂部則道

『我春集』から『株番』へ……………黄色瑞華

〔研究ノート〕

農村集落における精神的ムラ境の諸相

— 茨城県桜村における虫送りと道切りを事例として —……………小口千明

ヴァイマル憲法制定国民議会における裁判官の審査権

— 「ヴァイマル憲法下の裁判官の審査権」研究序説 —……………畑尻剛

グスターフ・フライタークの〈Soll und Haben〉……………鈴木敏夫

アンドレ・マルローの最初の美術論

《*La Peinture de Galanis*》(1922) について

- マルローの初期の美術論の研究 (前) — ……………堀 田 郷 弘
 シャルル・モーロンの「精神批評」(2)……………越坂部 則 道
 教育場面における夢の活用 (I)
 — その背景としてのフロイトとユング — ……………細 部 国 明
 身・語・意の三業 (tīni kammāni) と carita, saṅkhāra,
 samācāra ……………池 田 練太郎
 詩的コスモゴニーへの論理
 — ランボー詩の内的世界 —……………川那部 保 明
 ハイデガー先生の想ひ出……………小 野 浩
 [研究ノート]
 俳諧連歌における謡曲の文句取り (一) ……………黄 色 瑞 華

第 10 号 (1983 年)

ヴィトゲンシュタイン：太洋の測量技師

- 逆限定のパトス — ……………山 口 勲
 アメリカ文化論 (Ⅲ) ……………金 勝 久
 ジョイスのディケンズ・エッセイについて……………茂 呂 公 一
 教育場面における夢の活用 (Ⅱ)
 — 夢と宗教 — ……………細 部 国 明
 Zur Entwicklung der deutschen Sprache
 in der DDR ……………Kuniomi Uchimura
 『失われた時を求めて』における作中人物の出現と
 話者のまなざし……………北川原 哲 夫
 カミュと〈他者〉……………村 岡 正 明
 [書 評]
 (I) LE DASAVATTHUPPAKARANA
 Édité et traduit par Jacqueline VER EECKE
 (II) LE SĪHALAVATTHUPPAKARANA
 Texte pâli et traduction par Jacqueline VER EECKE
 ……………森 祖 道

第7号 (1980年)

ヤスパースとフッサール

- 精神病理学の哲学的基礎 —……………山口 勲
 PANTUN — puisi dan puisi rupa — ……………黄色 瑞 華
 国際水利法に関する一考察……………土 屋 生
 ジェイムズ・ジョイスの手法について (II)
 — 我国におけるジョイス評価の推移 — ……………茂 呂 公 一
 The Development of the Audiolingual Approach
 — Trends in Language Methodology in the United States —
 ……………Fumiko Tamura
 『空騒ぎ』の冥と光 — 偽りの力学 — ……………戸 所 宏 之
 「エンディミオン」における映像のあり方 ……………永 井 豊 実
 『ヴェニス商人』における Venture について……………小 野 昌
 カミュとニーチェ — 『異邦人』と〈神の死〉 — ……………村 岡 正 明
 アンドレ・ジッドの方法 (IV) — 生命の美学 — ……………陶 山 嘯
 「騎士と死神と悪魔」
 — 『悲劇の誕生』におけるデューラーの銅版画をめぐって —
 ……………河 内 信 弘

第8号 (1981年)

- ヴィトゲンシュタインのケムブリッジ……………山口 勲
 アメリカ文化論 (I) ……………小松 光・金勝 久・茂呂公一・黒沢順三
 シャルル・モーロンの「精神批評」(1)……………越坂部 則 道
 「高き山々の頂きから」
 — 『善悪の彼岸』に添えられた詩に関する一つの試み — ……河 内 信 弘
 思想家としてのニーチェ……………小 野 浩
 『四山藁』の俳論 ……………黄 色 瑞 華

第9号 (1982年)

- アメリカ文化論 (II) ……………金 勝 久
 ジョイスのパドバ・エッセイについて……………茂 呂 公 一

『教育者としてのショーペンハウアー』から

— ニーチェと自然 —	河内信弘
アンドレ・マルローと日本行動主義文学運動	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅱ）— 生命の美学 —	陶山 瞳
冷たき牧歌	
— キーツの『ギリシャの壺の賦』によせて —	永井豊実
『おらが春』の素材（続）	黄色瑞華
歌人「安江不空」	小野 浩

第5号（1978年）

南アメリカの考古学史	貞末堯司
Manorathapūrani 源泉資料年代論	森 祖道
大学英語教育の問題点（上）	鮫島久男
クレアラ・アン・ペイター覚え書（Ⅱ）	萩原博子
『シンベリン』皮肉な遊戯	戸所宏之
カフカ研究の視座を求めて	山口 勲
東京日仏会館開館式におけるマルロー氏の演説（1960年2月22日）	
と東京羽田空港におけるインタビュー（2月29日）	堀田郷弘
アンドレ・ジッドの方法（Ⅲ）	陶山 瞳
ニーチェと自然（一）	河内信弘
『おらが春』第一話の設定をめぐる	黄色瑞華

第6号（1979年）

ヴィトゲンシュタインの思想を理解するために	山口 勲
パーソナリティテストとしての SCT に関する一考察	
— 特に応用とその解釈をめぐる —	駒崎 勉
ジェイムズ・ジョイスの手法について（Ⅰ）	
— 我国におけるジョイス評価の推移 —	茂呂公一
A Textual History of Walter Pater's <i>Renaissance</i>	Hiroko Hagiwara
マクベスの意識構造 — 「運命」「眠り」「時」 —	小野 昌
ニーチェと自然（二）— 『悲劇の誕生』 —	河内信弘
全集本『おらが春』について	黄色瑞華

同一性（アイデンティティ）に関する諸問題 — その一 ……	帆 足 喜与子
凉袋稿『風雅艶談』浮舟部 — 翻刻 — ……	黄色 瑞 華
「紙」以前の書写の用材について — ……	井 口 大 介
故蒔田栄一教授 追悼 ……	松 田 福 松
ああ蒔田栄一先生よ ……	伊 部 政 一

第3号 — 城西大学開学十周年記念論文集 — (1975年)

アンデス古代文明の諸問題 ……	貞 松 堯 司
発見の哲学 — パース研究 (6) — ……	西 勝 忠 男
首都圏の都市成長前線帯におけるサービス業地域の形成 — 埼玉県坂戸町「きどうち」と「駅東通り」の比較 — ……	田 村 正 夫
鉄齋と華山 ……	小 野 浩
日本民主主義研究序論 ……	森 田 昌 幸
遠近法と身体性 — その哲学的意味 — ……	山 口 勲
Feminine Failure and the Modern Hero: Mad Women in Sylvia Plath's <i>The Bell Jar</i> and Joan Didion's <i>Play It As It Lays</i> ……	水 田 宗 子
『おらが春』の素材 ……	黄色 瑞 華
日本におけるアンドレ・マルロー受容 — 1941年(昭16)まで — ……	堀 田 郷 弘
ジェイムズ・ジョイス研究 — 造形への意識 — ……	茂 呂 公 一
作品とその批評 — <i>Robert Elsmere</i> と “Robert Elsmere” — ……	萩 原 博 子
司馬遷論 ……	黒 羽 英 男
三代日本主義の系譜について ……	松 田 福 松

第4号 (1977年)

論理の自律性について — パース研究 (7) — ……	西 勝 忠 男
カントの「定言命法」 ……	山 口 勲
中央アメリカの考古学史 — 先コロンブス期文化の研究を中心とした — ……	貞 末 堯 司
クレアラ・アン・ペイター覚え書 ……	萩 原 博 子

城西人文研究 既刊総目次

創刊号 (1973 年)

- 序……………武 市 春 男
『城西人文研究』の創刊に際して……………蒔 田 栄 一
ニーチェとキリスト教倫理……………木 阪 昌 知
マヤの石造建築における「持送りアーチ」について……………貞 末 堯 司
意味と認識
— パース研究 (4) —……………西 勝 忠 男
シーハラヴァットパカラナ訳註 (Ⅱ)
— 第 1 章 第 3・4・5 話 —……………森 祖 道
独白と対話
— ジョイスとペローの距離 —……………茂 呂 公 一
ポーにおけるグロテスクとアラベスク……………水 田 宗 子
内村鑑三おぼえ書き (その八)……………岩 谷 元 輝
人間の社会的構造と疎外……………松 浦 孝 作
『靈魂の系図』について
— Carlyle を中心として —……………松 田 福 松
カフカの世界
— 非ユダヤのユダヤ人 —……………山 口 勲

第 2 号 — 蒔田栄一教授追悼論文集 — (1974 年)

- 巻 頭 言……………武 市 春 男
バスク語の単文における語順の文体的価値について……………堀 田 郷 弘
内村鑑三おぼえ書 (その九)……………岩 谷 元 輝
精神病理学的立場からみたニーチェ思想の枠構造 (1)……………木 阪 昌 知
『サムラー氏の惑星』試論……………森 哲 夫
「キリスト者貴族に与う」にみられるルターの思想考……………太 田 広
宗教史にみる日本的均衡のメカニズム (Ⅳ)
— マーケティングと宗教の関連において —……………渡 辺 好 章
遠近法と身体性について……………山 口 勲

城西大学経済学会会則

- 第1条 本会は城西大学経済学会と称する。
- 第2条 本会は事務局を城西大学経済学部に置く。
- 第3条 本会は経済学，経営学，人文・社会諸科学の研究および発表を目的とする。
- 第4条 本会は次の事業を行う。
1. 機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の発行。
 2. 研究会および講演会の開催。
 3. その他必要と認める事業。
- 第5条 本会は次の者をもって組織する。
1. 正会員 本学経済学部の教授，准教授，講師，助教および助手。
 2. 特別会員 評議員会の承認を得た者。
 3. 準会員 本学経済学部および大学院経済学研究科の学生。
- 第6条 正会員および準会員は次の会費を納入するものとする。
- | | | |
|------|----|---------|
| 正会員 | 年額 | 10,000円 |
| 特別会員 | 年額 | 10,000円 |
| 準会員 | 年額 | 2,000円 |
- 但し，準会員に対する会費徴収は，当分の間行わない。
- 第7条 本会に次の機関を置く。
1. 会長 経済学部長がこれに就任する。
 2. 会員総会 正会員全員をもってこれを構成する。
 3. 評議員会 本学経済学部の教授，准教授，講師および助教をもってこれを構成する。
 4. 委員会 委員は正会員中より会長がこれを選考し，評議員会の承認を得て委嘱する。
 5. 機関誌編集，研究会，講演会，庶務および会計の職務分担は委員会においてこれを定める。
- 第8条 正会員は，機関誌『城西経済学会誌』および『城西人文研究』の配布を受ける。特別会員および準会員は，希望に応じて機関誌の配布を受けることができる。
- 第9条 本会会則の改正は，正会員2分の1以上出席し，その3分の2以上の

賛成をもってこれを決議する。

第10条 本会会則は昭和40年4月20日より施行する。

* 昭和49年4月改正（『城西人文研究』創刊）

昭和52年4月改正（会費3,000円）

昭和54年4月改正（会費2,000円）

昭和55年10月17日改正，同年11月21日施行

平成元年4月改正（準会員会費徴収を一時停止）

平成6年3月18日改正，同年3月25日施行

会費改訂（正会員および特別会員10,000円 準会員2,000円）

平成20年3月21日改正，同日施行

（正会員および評議員中，助教授を准教授とし，助教を加える。）

以上

編集委員

小堀隆司

城西人文研究

〈第32巻〉

平成27年3月30日

編集兼 城西大学経済学会
発行人 人文研究編集委員会

(〒350-0290) 埼玉県坂戸市けやき台1-1
TEL 0492-86-2233 (代)

◎代表者 安田信之助

東京都台東区浅草2-29-6
印刷所 (株)外為印刷
電話 東京(3844)3855(代)

JŌSAI JINBUN KENKYŪ

— Studies in the Humanities —

———— • ————

Contents

Some Streets Sata Ran through,
and Some Houses She Lived inAkio IKUMI (1)

Naito Jushin-in's (Nobeoka Domain, Hyuga Province)
Visits to Temples and Shrines in OsakaNaomi KANZAKI (37)

A Translation of
the KANEKO Misuzu's Poems into Chinese (2)Ying FAN (71)

On 'Dedication' in Yeats's *A Vision* (1925)Ryuji KOBORI (99)

Edited by Jōsai Keizai-Gakkai
in the Faculty of Economics of Jōsai University

SAKADO, SAITAMA, JAPAN